

発行：2026 年 2 月 9 日
発行所：公益社団法人日本建築家協会（JIA）近畿支部和歌山地域会
和歌山市ト半町 38 建築士会館 2F
073-432-1558
jia.wakayama@iris.eonet.ne.jp

編集：広報委員会 西本 寛史

表紙：「沖島」（滋賀県）
小谷 真司 <小谷建築設計事務所>

JIA 和歌山地域会

<正会員>

生駒 義範
／不二設計

岩脇 邦樹
／㈱環境建築計画

上野山 和男
／建築設計事務所カオス

川 広樹
／㈱川建築事務所

小谷 真司
／小谷建築設計事務所

柴本 米一
／サイモン建築設計室

島 桐子
／アトリエクワン級建築士事務所

城本 章広
／城本建築設計事務所

瀧川 嘉彦（地域会長）
／㈱瀧川建築デザイン事務所

橋 雅彦
／エテルノ建築設計事務所

谷岡 拓
／㈱堀田設計

辻岡 直樹
／辻岡直樹建築設計事務所㈱

中西 重裕
／㈱一級建築士事務所 K&N アーキテツ

中野 肇
／一級建築士事務所楽工舎

中道 哲也
／㈱スタジオパートナー

西本 寛史
／nha

橋本 浩行
／橋本浩行建築設計室

橋本 雅史
／㈱キューブ建築研究所

山中 淳
／一級建築士事務所所想建築工房

山野 公嗣
／スペースデザイン

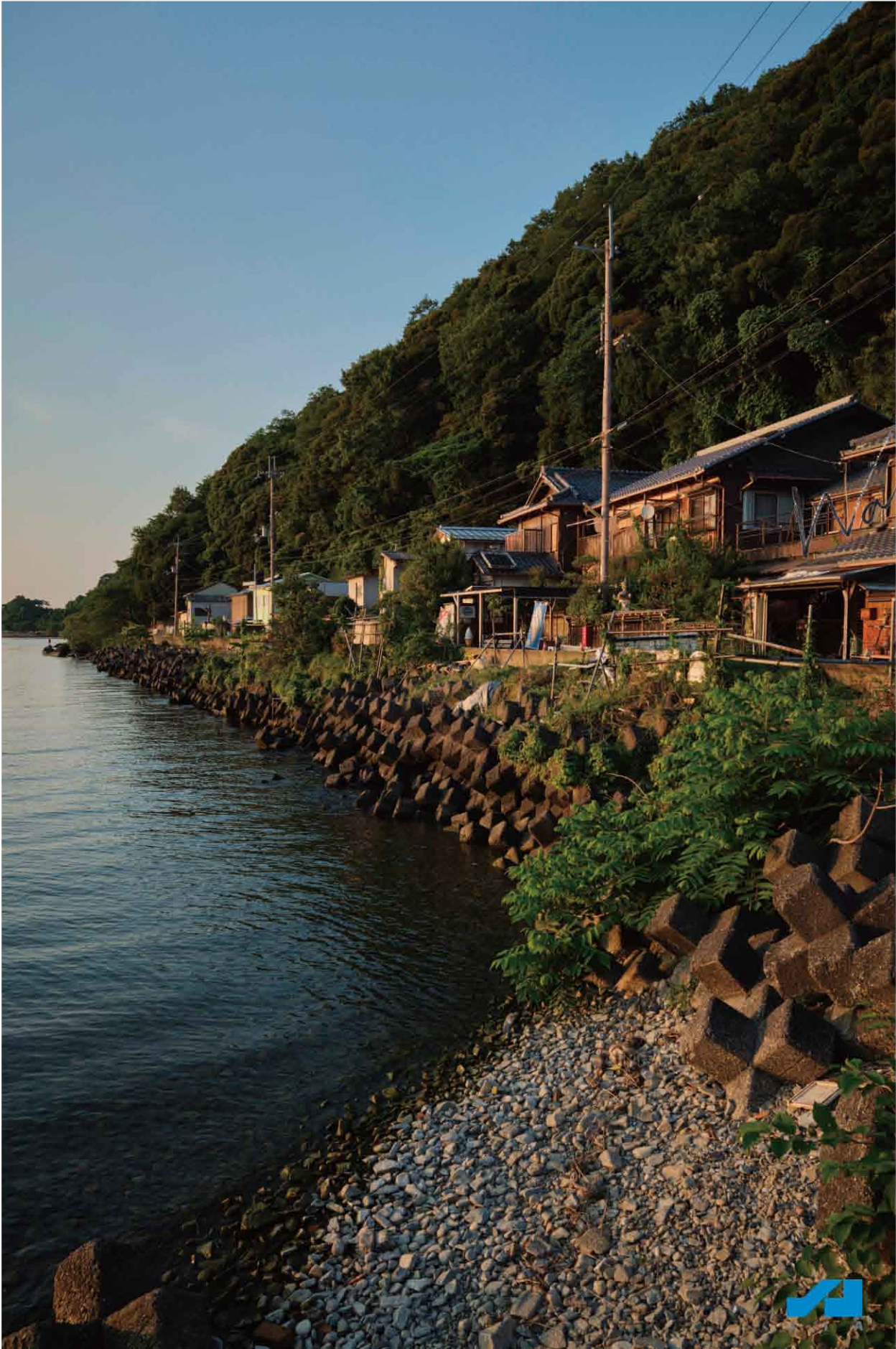
<協力会員>

(株)アルプス
(株)インテリックス
(株)ウチタ
AGC硝子建材(株)和歌山支店
(株)遠藤照明 営業本部 大阪支店
大阪ガスケミカル(株)
大芝建材(株)和歌山営業所
オーロン物産(株)
カドヤ(株)
紀陽ダイキン空調(株)
ダイキン工業(株)空調営業本部 設備営業部
コイズミ照明(株)大阪第2営業所
小松ウォール工業(株)和歌山支店
(株)コムラ
(株)酒直

(株)サニコン
三協樹脂建材(株)
三和シャッター工業(株)和歌山営業所
(株)総合資格 和歌山校
(株)ダイキアクシス和歌山営業所
タケヤテック㈱
大光電機(株)大阪支店和歌山事務所
太陽工業(株)
タニコー(株)和歌山営業所
(有)土橋鋳金工作所
(株)ディーケーワークス
TOTO(株)阪奈和支店和歌山営業所
(株)東和(&Room)
(株)ナルセ
ナブコドア(株)和歌山営業所

(株)日本システム家具
(株)ハイブリッジコーポレーション
パナソニック(株)エレクトリックワークス社
和歌山電材営業所
HARA設備
(株)富士商会
フジテック(株)和歌山営業所
村上建設(株)環境事業部
(株)LIXIL
リビエラ(株)大阪支社
(医)黎明会 健診センター・キタデ
YKK AP(株)関西支社ビル和歌山支店
(株)和歌山ナセリー
和歌山ベストン(株)

事務局より -Schedule-		11/17-22	第 8 回きのくに建築賞「きのくにみんなの賞」作品展示、投票 / 和歌山市立図書館
8/22	納涼会（出席 26 名） /BRING BOOK STORE@和歌山県立近代美術館内	11/21	支部大会前日準備 和歌山県立近代美術館
8/28	建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F	11/22	JIA 近畿支部大会「ARCHTECTS’ DAY 2025 IN WAKAYAMA」 エクスカーションⅠ「和歌山県立近代美術館博物館建築ツアー」 エクスカーションⅡ「Re [] SHIMIZU-URA PROJECT 見学」 シンポジウム 「再発見される建築の愉しみ方－和歌山県立近代美術館の 31 年」 レセプションパーティ 和歌山県立近代美術館他
9/9	9 月月例会 近畿支部大会実行委員会 / JIA 事務局、web	11/23	8 回きのくに建築賞公開審査 / 和歌山県立近代美術館
9/10	9 月勉強会 / 和歌山県民文化会館（特別会議室 B） 村上建設株式会社主催：講師：佐藤実氏（株）M’s 構造設計 代表取締役 “物価高時代”に立ち向かう正しい基礎・構造セミナー	11/27	建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F
9/25	広報取材（小谷、西本）/ 小谷建築設計事務所	12/5	和歌山県建築構造設計協会忘年会（西本）/㈱ルグラング i7和歌山
9/29	建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F 近畿支部大会実行委員会 / JIA 事務局、web	12/11	12 月月例会 / JIA 事務局 忘年会（出席 30 名）中国料理 詩仙
10/2-3	第 8 回きのくに建築賞現地審査	12/15	「気候風土適応住宅」独自基準法策定スタートアップ会議 / 建築士会館 3F
10/9	10 月月例会 近畿支部大会実行委員会 / JIA 事務局、web	12/18	建築相談 1 件（生駒、橋本雅）/ JIA 事務局 （一社）和歌山県建築士事務所協会忘年会（瀧川） /㈱ルグラング i7和歌山
10/10	近畿支部大会実行委員会現地打ち合わせ / 和歌山県立近代美術館	1/13	1 月役員会、月例会 / JIA 事務局、web
10/27	近畿支部大会実行委員会 / web	1/22	建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F
10/28	建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F	1/25	more trees トリエンナーレ 2026 in 田辺市 公開シンポジウム（生駒）/ ビッグ・ユー
10/30	近畿支部大会実行委員会現地打ち合わせ / 和歌山県立近代美術館		
11/7-8	JIA 建築家大会 2025 千葉（瀧川、谷岡、中道）		
11/10	11 月月例会 / JIA 事務局、web		
11/11	田辺市主催「more trees トリエンナーレ 2026 公開シンポジウム」後援		
11/12	第 8 回きのくに建築賞リハーサル 和歌山県立近代美術館		



■ 9 月勉強会（2025/9/10）

JIA.W 9 月勉強会として、9 月 1 0 日午後 1 時半より県民文化会館特別会議室にて、協力会員の村上建設株式会社様主催の構造セミナーに参加しました。講師は構造家の佐藤実氏で、木造建物における耐震等級 3 を得ることの重要性や、許容応力度計算の方策などを分かりやすく解説いただきました。いずれも今までぼんやりとした知識しかもっていなかった内容でしたが、この際改めて勉強してみようと思いました。

アトリエクウ一級建築士事務所 / 島 桐子



■ 第 8 回きのくに建築賞（2025/9/12）

応募作品は 26 作品で 9 月 12 日に一次審査通過作品を 7 作品選び、10 月 2 日 3 日に現地審査を行い、紀州材賞 1 作品と 5 作品の入賞作品が選ばれました。11 月 23 日に和歌山県立近代美術館において公開審査が行われ前田圭介氏設計の「OBI-YON・SHIROOBI」が最優秀賞を受賞されました。今回みなさんの投票で選ぶ「きのくにみんなの賞」を新設しました。「きのくにみんなの賞」是和歌山市民図書館の 2 階イベントホールに全応募作品（26 作品）を展示し来館者に web 投票してもらい、11 月 23 日の公開審査時の web 投票分と合わせて決定しました。



最優秀賞：OBI-YON・SHIROOBI（設計：株式会社 UID 前田 圭介）

入賞：広川町立 広小学校（設計：hana class 佐原 光治）

みかんの木 カフェ（設計：藤岡建築研究室 藤岡 龍介）

みなべの家（設計：株式会社 池辺工務店 池辺 清一 他）

根来の住宅（設計：奥和田健建築設計事務所 奥和田 健）

紀州材賞：大屋根と畑とながいおか

（設計：kaiyoki 長岡 篤彦）

きのくにみんなの賞：みかんの木 カフェ

（全投票数 121 票中 41 票獲得）



スペースデザイン / 山野 公嗣

■ J I A 近畿支部大会 2025（2025/11/22）

私が和歌山地域会会長に就任してすぐに支部役員会で

次回の近畿支部大会を和歌山で開催することが決まりましたが、内心では和歌山の少ないメンバーで開催で

きるかどうか不安でした。しかし、谷岡実行委員長を

はじめ実行委員会と役員とメンバーの皆様のご協力で、

無事開催することが出来ました。協力会員の皆様にも

大変お世話になりました。企画段階では色々な案が出

ましたが、和歌山県立近代美術館の皆様にご協力いた

だき、会場もお借りできた事でテーマを絞り込むことが出来

ました。途中で美術館の照明が一部使用できないという問題も生じ

ましたが、協力会員の大家電機様のご協力で無事に問題も解決

しました。当日は天候にも恵まれ、黒川建築を舞台にパネリストの皆様と興味深い討論が出来ました。懇親会是和歌山の

食材にこだわり、和歌山の地酒も用意してご参加の皆様にご

喜んでいただけたと自負しております。これを機会に和歌山地域会のメンバーの連帯感も増したと思いますので今後の事業も活発に行っていきたいと思

います。



和歌山地域会会長（株）瀧川建築デザイン事務所 / 瀧川 嘉彦



協力会員
（株）ウチタ、（株）ディーケーワークス、（株）LIXIL

輦渕地区複合施設

山並みに溶け込み、人々が集う大樹をイメージしています。建具写真の「ともぶち」は、廃校となった地元の小中学生がデザインしたものです。

構造 / 木造平屋建て
規模 / 延床面積 468 m²

Q. 7 健康に気を付けている事はありますか？ 運動とか…

A. 7 週に 2, 3 回ジムにいましたね。出勤時間は市役所に合わせて 9 時。勤務時間もちゃんと決めてなくて、心拍数の上がらない穏やかな勤務形態。現場ではめちゃくちゃ怒ってますけど、心拍数上げずに怒ってます。

Q. 8 建築に対するこだわりは何かありますか？

A. 8 コストかな。建物はこちらが設計したいからやるものではないし、メンテナンス費や税金がかかるし、品質が悪いと 20 年後に困る。後で困ったって話が多くて、そこが世間から非難されがちですね。僕のこだわりはきちんと説明する事。20 年、30 年かけてお金を借りて建てる人が多いし、取り返しがつかないから、よく説明して理解してもらわないとだめですね。

Q. 9 では JIA にひとこと頂けますか？

A. 9 JIA は設計する人が建築家だと思っていませんか？僕はそうは思っていない。建築行為一式において自分はプロだと思っている人が建築家だと思う。田舎の行政の設計監理を、高いクオリティで仕上げるのも建築家ですよ。みんな建築村に住んでるんです。一般的に考えたらなんかおかしいって事があるのに気付かない。建築村に住んで建築村の評価をもらう。これが世間の何人の評価になるのか。僕は建築村に住まないように、そうならんようにしようと思っています。



心拍数を低く保ちながら怒るんよ！！

僕には無理だあ（泣）

山で購入した丸太梁。お代はビール 1 ケースだとか（笑）

Q. 1 小谷さんが建築を志したきっかけは？

A. 1 本当は写真家になりたかったんだけど、食べていけないと思って。家が施工会社をやっていたので、建築系の大学に進みました。小さい時から見てるし、職業としてわかりやすかった。教授が設計の実務家でよく現場についていきましたね。そこで設計が面白くて、教授のいる大阪の設計事務所でアルバイトをして、そのまま就職も考えましたが自分にはむいてないと思いました。大阪では広告戦略や営業に注力していて、有名にならないと仕事ができない。そこに皆一生懸命で、僕はそういうのが苦手。どちらかという性能のいい家を作る実務や監理がしたい。それで和歌山に帰って富松建築設計事務所に入りました。10 年くらい勤めて独立して…もう 20 年くらいたちますね。

N. 富松戦士！和歌山地域会でも何人かいらっしやいます。小谷さんの現場は厳しいと聞いてます。（笑）

そんなことないよ。ぼくあんまりこだわらないからね（笑）

Q. 2 好きな建築家は誰ですか？

A. 2 それ聞かれると困るなあ。好きな写真家でもいいですか？

川島小鳥さんの、未来ちゃんの写真が好きですね。あ…でも、建築に進んで、何にも知らずに写真を見て、この建築凄いなと思ったのはやっぱりコルビュジエでしたね。

Q. 3 小谷さんは ON と OFF の切り替えはどうされてますか？

A. 3 僕一生懸命働いてないんでずっと OFF です。いやほんまのはなし。趣味は登山で 100 名山を目指していて、40 くらいは登りましたね。西の屋久島から順にいつてるけど、東は寒いし雪降るしで登れる期間が短いんですよ。

N. 熊とか怖くないですか？

熊ですか？まあ怖いけど…でももう最終的には戦う気でいかんと！



24 時間、お風呂でも小谷さんの心拍数を測定してくれています。

たくさん本。家と合わせると数万冊！図書館並だそうで（汗）

Q. 4 お客様との意見のすり合わせはどうやってされていますか？

A. 4 意見が合わない場合は仕事を受けません。建築費用ってお客様のお金ですからね。受けないからすり合わせしなくていい。

Q. 5 広報活動や営業活動はどうされていますか？

A. 5 基本的には知り合いの依頼か、公共事業です。地元の紀の川市が多いかな。富松にいたっていうのもあるし、現場もよくいくので信用は築けていると思います。田舎はそれが大切ですよ。大阪や和歌山市は公共も民間もなかなか厳しい入札環境でしょ。紀の川市は公共のノウハウがある設計事務所が少なく、ライバルがいない。僕の戦略ですよ。

Q. 6 小谷さんのこだわりのアイテムはありますか？

A. 6 一切ないですね。

N. 絶対あるでしょ（笑）スマートウォッチが素敵ですね。

フランスのブランドで、Withings のもの。AppleWatch は 1 日で充電が切れるけど、これ 2 ～ 3 週間もつんです。僕、心拍数を低く生きる事を目指して。緊張や不安感で上がるから、24 時間これで心拍数を測って心理状況をチェックしてる。アイテムではなく生き方にこだわってます。

仕事場を訪ねて -Visit Office-

奈良から和歌山へと流れ、紀伊水道に注ぐ一級河川「紀の川」が由来である紀の川市。川沿いの主要道路から少し北に入った所に小谷さんの設計事務所があります。富松建築設計事務所を退職後、工務店を入れずになんとご自分で建てたそうです。基礎の配筋、コンクリート打ち、外壁塗装と、御実家が施工会社なので知識が豊富。そのうえ重機も扱える小谷さんは最強の建築家と言えるのでは！？「自分で作ったから、安くすんでますよ」と、なんともあっけらん。独立後、スタッフがおられた時もあったそうですが、仕事を用意する大変さと自由のきかなさから、現在はお一人だそうです。「ぼぼ遊んでるって書いて（笑）」なんておっしゃいますが、お話は唸られる事ばかり。小谷さんの建築に対する誠実さが感じられる取材となりました。

File.20
小谷建築設計事務所

取材・編集 / nha



JIA MAGAZINE

Wakayama